

商店街NEXTリーダー創出事業費補助金
補助金要望書

提出日 令和6年4月22日

1 事業者名	〇〇商店会
2 事業者所在地	仙台市青葉区本町3丁目8-1
3 担当者職氏名	宮城 次郎
4 連絡先	TEL: 022-211-2746 FAX: 022-211-2749 E-mail: syokokins@pref.miyagi.lg.jp
5 補助事業について	
補助事業の区分	<input checked="" type="checkbox"/> トライアル事業 ・ <input type="checkbox"/> 魅力発信事業 ※該当事業を□で囲むこと
補助事業の概要・ アピールしたい点	〇〇商店街を舞台にフォトコンテストを開催し、コンテストを通じて商店街や個店の魅力を知ってもらう機会とする。日常の客足の確保が課題である〇〇商店街において、商店街まで足を運んでもらい魅力を伝える機会を設けられる本事業は、活性化に特に有効な施策だと考えられる。 事業を実施する△△グループには、これまで商店街活動の企画運営には関わりがなかった者も含まれ、本事業を通じて将来の商店街活動の担い手となることが期待される。
完了予定年月日	令和7年1月31日
6 その他（特記事項等）	

(※) 別紙1「事業計画書」、別紙2「収支予算書」を添付すること。

事業計画書

1 事業者の概要

商店街団体 (※)	団体名： 〇〇商店会	代表者名： 商業 太郎
	設立年月日： 平成元年6月1日	組合員(会員)数： 50名
若手・女性商 業者グループ	グループ名： △△グループ	代表者名： 宮城 次郎
	設立年月日： 令和3年6月1日	構成員数： 8名

(※) 商店街団体が補助事業者となる場合に記載すること

2 事業の内容

事業名	〇〇商店街フォトコンテスト開催事業
実施地域	①対象となる商店街等： 〇〇商店街
	②商店街、地域商業の概況 (業種構成、空き店舗状況、来街者の属性、人通り、課題や問題点等を記載) 〇〇商店街は〇〇駅と観光資源でもある△△神社の間にある商店街で、主に飲食店、土産屋、生鮮食品店で構成されている。以前は△△神社への参拝帰りの来街者でにぎわっていたが、近年は車利用の参拝客が多く、また、駅前商業施設への顧客流出等により人通りが減少し、空き店舗も2割弱まで増加するなど、徐々ににぎわいを失っている。
	③これまでの主な取組 (これまで商店街や地域で行われてきた取組を記載) 毎年春に実施する「●●祭り」では、露店や地元ジャズバンドの演奏会を行い、観光客を中心に盛況となっている。また、昨年3回目となった▲▲商店街との合同スタンプラリーは、実施期間中に多くの来街者が訪れている。
	④活性化のために今後必要と考えられる事項 (実施する事業の内容に関わらず、概況とこれまでの取組を踏まえて網羅的に記載) イベントによる集客は期待できる一方、日頃の客足の確保が課題であり、特に参拝客を商店街に誘導することが重要だと考えられる。そのためには、商店街や個店の魅力をこれまで以上に認知してもらえるイベントや、商店街のイメージアップ・PRの強化が必要だと考えられる。

<p>実施内容</p>	<p>(実施する事業について、具体的な内容を記載)</p> <p>〇〇商店街を舞台にフォトコンテストを開催し、コンテストへの参加を通じて商店街や個店の魅力を多くの方に知ってもらう機会とする。</p> <p>SNSでの告知のほか、参拝客を誘導できるように駅や神社周辺で告知を実施する。募集はSNSで受け付け、応募作品を商店会役員、写真店の店主、△△グループ代表者で審査して入賞作品を選定する。入賞者には商店街で買える特産品や割引券を贈呈する。</p> <p>応募作品は、フォトコンテストの実施にあたり作成するSNSのページで公表するほか、商店街内での掲示も行う。</p>
<p>実施体制</p>	<p>(運営体制、企画検討の方法、主導するグループ以外の参加者、他の機関との連携等を記載)</p> <p>これまでの商店街活動の中心となっていた商店会役員のアドバイスのもと、新たに組織した△△グループが事業全般の企画運営を行う。当面は、グループ内で「事務・会計」、「商店会会員への協力要請」、「SNSページ作成」、「チラシ作成」に役割を分担して実施する。</p> <p>また、週1回グループ会議を実施し、内容の企画検討や進捗管理を行う。会議には商店会役員にもオブザーバーとして出席してもらう予定である。</p>
<p>期待される効果・目標</p>	<p>(実施の結果期待される効果や実施に当たっての目標、人材育成への取り組み等を記載)</p> <p>これまで商店街を素通りしていた客層が写真撮影により足を止めることで、商店街の魅力を知ってもらう機会となり、本事業をスタンプラリーなど既存事業と連動させること出来れば、にぎわいの創出に寄与すると考えられる。さらに、各構成員が本事業を通じて企画・運営等のノウハウを習得することで、新たなイベント創出にも期待ができる。</p>

3 実施スケジュール

<p>実施項目 (具体的な項目ごとに記載)</p>	<p>スケジュール (各項目の実施月や頻度等を記載)</p>
<p>企画検討会議</p>	<p>9月中旬～10月末まで概ね週1回の頻度で実施</p>
<p>商店会会員への協力要請</p>	<p>10月中旬までに全店舗から了承を得ることを目標とする</p>
<p>SNSページ・チラシ作成</p>	<p>10月上旬までに作成し、チラシは10月中旬から配布</p>
<p>フォトコンテスト</p>	<p>11月の1か月間を募集期間とする</p>
<p>審査会・結果公表</p>	<p>12月上旬に審査会を実施し、12月下旬に結果公表</p>

(※) 必要に応じて行を追加して記載すること

4 添付書類

- (1) 事業の対象となる商店街等の区域が分かる資料 (地図等)
- (2) 事業者が商店街団体又は従来から設立されているグループである場合は、概要及び活動内容が分かる資料 (定款、構成員名簿、事業報告書等)

5 若手・女性商業者グループの構成員

氏名	店舗等の名称	業種・業態	年齢	性別	所属する商店街団体等の名称	担当業務	NEXT リーダーセミナー 修了年度 ※該当者のみ記載
宮城 次郎	カフェみやぎ	喫茶店	44	男	〇〇商店会	全体の取りまとめ	R5修了生
宮城 花子	雑貨店みやぎ	雑貨店	43	女	〃	情報発信	R2修了生
・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	50	男	〃		
・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	42	男	〃		
・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	36	男	〃		
・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	39	女	〃		
・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	51	女	〃		
・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	44	女	〃		

(※) 必要に応じて行を追加して記載すること

事業計画書

1 事業者の概要

商店街団体	団体名： 〇〇商店会	代表者名： 商業 太郎
	設立年月日： 平成元年6月1日	組合員(会員)数： 50名

2 事業の内容

事業名	〇〇商店街情報発信事業	
実施地域	①商店街の概況 (業種構成、空き店舗状況、来街者の属性、人通り、課題や問題点等を記載) 〇〇商店街は〇〇駅と観光資源でもある△△神社の間にある商店街で、主に飲食店、土産屋、生鮮食品店で構成されている。以前は△△神社への参拝帰りの来街者でにぎわっていたが、近年は車利用の参拝客が多く、また、駅前商業施設への顧客流出等により人通りが減少し、空き店舗も2割弱まで増加するなど、徐々ににぎわいを失っている。	
	②若手・女性事業者グループを形成することが困難な理由 (商店街の概況を踏まえて具体的な理由を記載) 来街者の減少から近年は商店街への新規出店が少なく、あっても商店会に所属しないため、会員の最年少は50代となっている。また、女性経営者も1名のみのため、新たに若手や女性でグループを形成することは困難である。	
実施内容	(実施する事業について、具体的な内容を記載) 「〇〇商店街通信」を作成し、商店街や個店の情報等を2か月に1回の頻度で発信する。商店街通信には商店街の歴史、イベント情報、各個店リレー形式のコラム、空き店舗情報などを記載する。併せて、商店街の魅力をわかりやすく伝えるためのPR動画を作成する。 これらについては、新たに作成する〇〇商店街のSNSページに掲載するほか、現在地域づくりの中核となっているNPO法人■■のホームページにも掲載していく。	
連携する外部機関	①名称： NPO法人■■	②代表者名： 経商 花子
	③所在地：.....	
	④実施体制と役割分担 (運営体制、事業者と外部機関との役割分担等を記載) 商店会内に5名程度の実行委員会を組織して事業を実施する。〇〇商店街通信については、■■のアドバイスを受けながら実行委員会で作成し、PR動画については、実行委員会で内容を検討のうえ■■に作成を依頼する。	

期待される効果・目標	<p>(実施の結果期待される効果や実施に当たっての目標等を記載)</p> <p>NPO法人■■は県内外に認知度されていることから、■■と連携することにより、これまで以上に対象を広げて情報発信を行うことができる。このため、毎年冬に行う▼▼イベントの集客力向上や、空き店舗を活用した新規出店や創業といった動きが期待される。</p>
------------	--

3 実施スケジュール

実施項目 (具体的な項目ごとに記載)	スケジュール (各項目の実施月や頻度等を記載)
実行委員会	事業期間中に概ね月2回の頻度で実施
空き店舗情報掲載に向けた調整	9月末までに掲載できる空き店舗一覧を作成(適宜更新)
〇〇商店街通信の発行	10月、12月、2月の上旬に発行
PR動画の作成	11月までに内容を検討し、2月までに作成・公開

(※) 必要に応じて行を追加して記載すること

4 添付書類

- (1) 事業の対象となる商店街の区域が分かる資料(地図等)
- (2) 事業者の概要及び活動内容が分かる資料(定款、構成員名簿、事業報告書等)

